

【問4】 5人が、グー、チョキ、パーを1回だけ出し合ってじゃんけんをするとき、「あいこ」になる確率として、正しいのはどれか。
ただし、5人とも、グー、チョキ、パーを同じ確率で出す。 【地上16年度】435_6
1 $51/81$ 2 $56/81$ 3 $61/81$ 4 $66/81$ 5 $71/81$

【正解】1 37%

【解説】 全部の場合の数は3種類が5人それぞれであるから、 $3^5=243$ 通り

「あいこ」の余事象は勝負が決まる場合である。

1人が勝つ場合は、5人から1人を選ぶことで、5通り。勝つ手は3通りであるから15通り。

2人が勝つ場合は、5人から2人を選ぶことで、10通り。勝つ手は3通りであるから30通り。

3人が勝つ場合は、2人が負ける場合と同じだから30通り。

4人が勝つ場合は、1人が負ける場合と同じだから15通り。

全体で $15+30+30+15=90$ 通り

余事象であるから $1 - (90/243) = 51/81$

なお、選択肢はテキストと実質同一であり、分母が81に統一してある。

【問5】 100から999までの3桁の整数の中から、1つの整数を無作為に選んだとき、選んだ整数の各位の数字の中に同じ数字が2つ以上含まれる確率として、正しいのはどれか。 【東京都23年度】新_343

1 $5/25$ 2 $7/25$ 3 $9/25$ 4 $11/25$ 5 $13/25$

【正解】2 35%

【解説】 全部の場合には、 $999-99=900$

余事象で考える。各位の数字が異なる場合は、百の位は1から9までの9個あり、十の位は1から9の内百の位で使った数字を除き、0を加えると9個である。一の位は百と十の位で使った1と0を除き8個となる。

これらの組合せである $9 \times 9 \times 8 = 648$ これが同じ数字が2つ以上含まれない場合である。

$648/900 = 18/25$ これは余事象であるから $7/25$ となる。

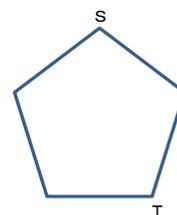
【問7】 図のような五角形を考える。頂点に駒を置き、さいころを振る。さいころの目が奇数であれば、駒を時計回りに辺に沿って目の数だけ頂点を移動させる。

偶数であれば、反時計回りに同様に移動させる。今、頂点Sに駒を置き、

この試行を2回繰り返したときに駒が頂点Tに移る確率はいくらか。

【裁判所23年度】新_324

1 $1/9$ 2 $1/6$ 3 $2/9$ 4 $1/3$ 5 $4/9$



【正解】3 44%

【解説】 場合の数は、1回目と2回目共に1から6であるから $6 \times 6 = 36$ 通り

時計回りは、サイコロが1, 3, 5のときで、反時計回りは、2, 4, 6の場合である。

時計回りを正の数とし、反時計回りを負の数とすると、Sから始め時計回りでTになるのは、2, 7, 12で、反時計回りでは、-3, -8である。

この5個の数字になるさいころの目の組合せを検討する。1, 3, 5, -2, -4, -6を2個組合せ、2, 7, 12, -3, -8になる場合がいくつあるか検討する。

(1, 1), (1, -4) (-4, 1) (3, -6) (-6, 3) (-2, -6) (-6, -2)

(-4, -4) の8通りである。

$8/36 = 2/9$